

令和4年度石川県専門的看護実践力研修事業 【摂食・嚥下障害看護】実施報告

【摂食・嚥下障害看護】の分野における研修が
10月3日・13日・19日・28日・29日・11月4日（計6日間）
金沢医科大学病院で開催されました。



新型コロナの感染状況を鑑み、集合研修とオンライン研修によるハイブリッド形式で開催しました。

脳と神経のしくみと障害のメカニズム、理学療法士や作業療法士、言語療法士によるアプローチの方法、誤嚥を防ぐポジショニングなど専門分野からの講義を踏まえた上で、演習や事例検討会を行いました。

すぐに現場で活用できる内容が多く、職場のスタッフと共有したいとの声も多く聞かれました！

[詳しい研修プログラムはこちら](#) →

受講者の声

介助をする時、「食べ物を口に入れればよい」ではなく、下口唇をなぞる、舌中央に乗せる、まっすぐ引き抜くを意識したいです。患者の立場になることが大切だと思いました。



食事のポジショニング、個人に合わせたタオルやクッションの使用、リクライニング角度の調整が重要だとわかりました。患者の安全・安楽を第1にポジショニングを伝承していきたいです。車椅子の時も姿勢が崩れている人、円背のある人などタオルを入れて安定したポジショニングをしていきたいです。



口腔ケアは毎日行っているケアの中でも大切にしていることのひとつです。清潔にすることはばかりに気をとらわれて機能的口腔ケアという視点を忘れていました。これからは両方の視点からケアに関わっていかないといけないと再確認ができました。

